

本時のねらい

- ・おすすめの本を、ほかの人に紹介することができる。
- ・姿勢をただして、おすすめの本の紹介を聞き、自分の考えを持つことができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノートスクールを使って、読んでみたい本に投票することで、投票結果をすぐに示すことができる。
- ・おすすめされた本のページを、自分のペースでゆっくり見ることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノートスクール
- ・プロジェクトア
- ・Google スライド

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しを持つ。 ・本時の流れを知る。 ・発表を聞くときの姿勢を確認する。 (タブレットは閉じて、話を聞く) 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google スライドを使って、本時の流れを児童に示す。 ・プロジェクターでホワイトボードに投影する。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ずつ、おすすめの本を紹介する。 ・発表する児童は、ロイロノートスクールで作ったスライドを見せながら、発表する。 【写真1】 ・聞く児童は、共有されたおすすめの本のページを見て、質問を考える。 【写真2】 ○ロイロノートスクールの投票機能を使って、一番読みたくなった本を選び、選んだ理由を入力する。 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド操作は指導者が行う。 ・発表する児童の紹介するページをロイロノートスクールで配付することで、共有されたおすすめの本の中身を自分のペースで見られるようにする。 ・投票結果を共有することで、他の児童の投票理由を読むことができる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○投票した理由を発表し合う。 ・発表を聞くときの姿勢を思い出す。 ○ふりかえりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートスクールのアンケート機能を使って、本時のふりかえりを行う。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】
おすすめの本を手に持ち、おすすめの本のページをスクリーンに映しながら発表するようす



【写真2】
発表に使用したデータを、聞き手が自分の端末で拡大して見ているようす



【写真3】
投票機能を活用し、一番読みたくなった本とその理由を入力するようす

児童生徒の反応や変容

- ・おすすめの本の発表を聞いた後に、自分の端末でデータを見ることで、本の細かい描写をとらえることができ、質問や感想を考えることができた。
- ・発表を聞くときは、タブレット端末を閉じていたので、集中して発表を聞くことができていた。
- ・発語が苦手な児童もスライドに自分で描いた絵を入れるなどの工夫をして紹介することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ロイロノートスクールの投票機能を活用したことで、投票の結果が一目で分かりやすい形で提示でき、結果発表の時、いい緊張感が生まれた。
- ・ロイロノートスクールの録音機能を使って担当教員が代読したことで、発語が苦手な児童もほかの児童と同じように発表することができた。